

2022 (R4) シカ年度 エゾシカ対策事業結果

1. 遺産地域内（環境省釧路自然環境事務所）

(1) 2022 (R4) シカ年度 エゾシカ捕獲進捗状況

2022 (R4) シカ年度 地区別・捕獲手法別エゾシカ捕獲合計頭数一覧 (3/17 時点)

捕獲手法	幌別-岩尾別地区	ルサ-相泊地区	知床岬地区※	総計
くくりわな	16 (6)	33 (16)	—	49
忍び猟ほか	—	—	37(21)	37
誘引狙撃	21 (3)	—	—	21
囲いわな	17 (0)	—	—	17
計	54 (9)	33 (16)	37(21)	124
(参考) R3 年度実績計	185 (59)	18 (5)	7 (2)	210

() の数字は捕獲頭数のうち、メス成獣の捕獲頭数を示しています。

※知床岬地区については令和 5 年 4 月以降に捕獲取組を予定しています。

(2) より効率的な捕獲手法の検討・実施について

日没後最長 3 時間まで延長した捕獲（日没時銃猟）、ドローンの利活用など、岩尾別台地上においてより効果的な捕獲手法の検討などを行い、計 16 頭（内メス成獣 3 頭）のエゾシカを捕獲しました。

これらの知見は今後の検証結果も踏まえて、現在、エゾシカ個体数が増加傾向にある知床岬においても役立てることが可能かも含めて、引き続き慎重に検討していく予定です。

2. 隣接地域（林野庁知床森林生態系保全センター）

【事業結果】

令和 4(2022)シカ年度 地区別・捕獲手法別エゾシカ捕獲頭数一覧

捕獲手法	ウトロ東地区	オシンコシン地区	春茹古丹地区	総計
囲いわな	—	—	—	—
箱わな	—	—	—	—
くくりわな	19(内メス 9)	39(内メス 14)	69(内メス 49)	127
計	19	39	69	127

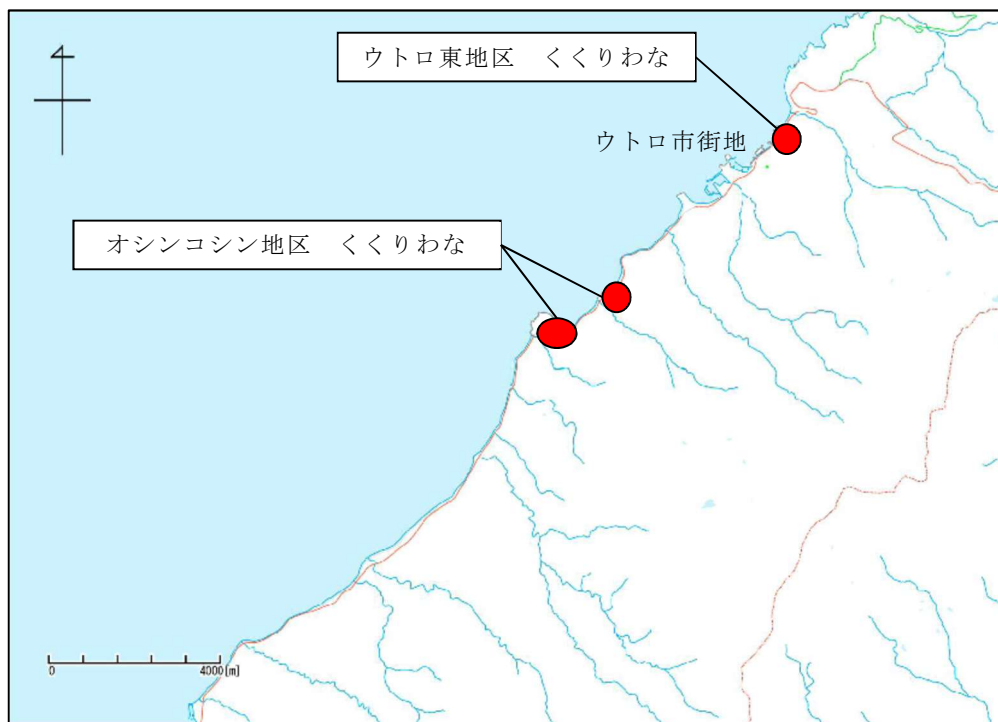


図 1：遺産隣接地域における令和 4(2022)シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点（ウトロ地区）

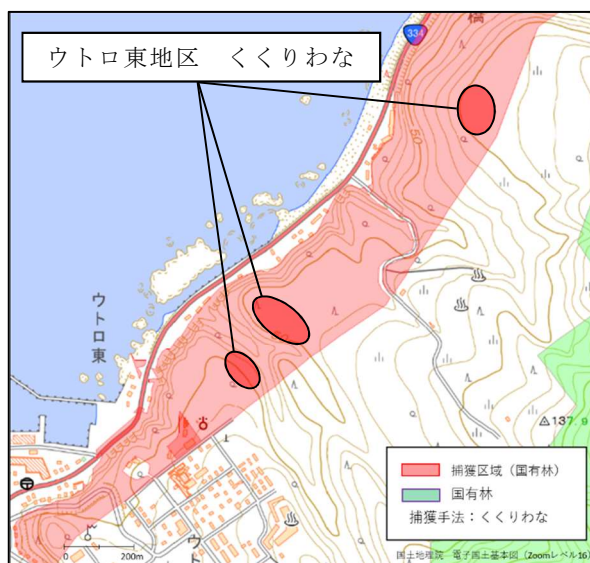


図 2：遺産隣接地域における令和 R4(2022)シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点の詳細（ウトロ東地区）

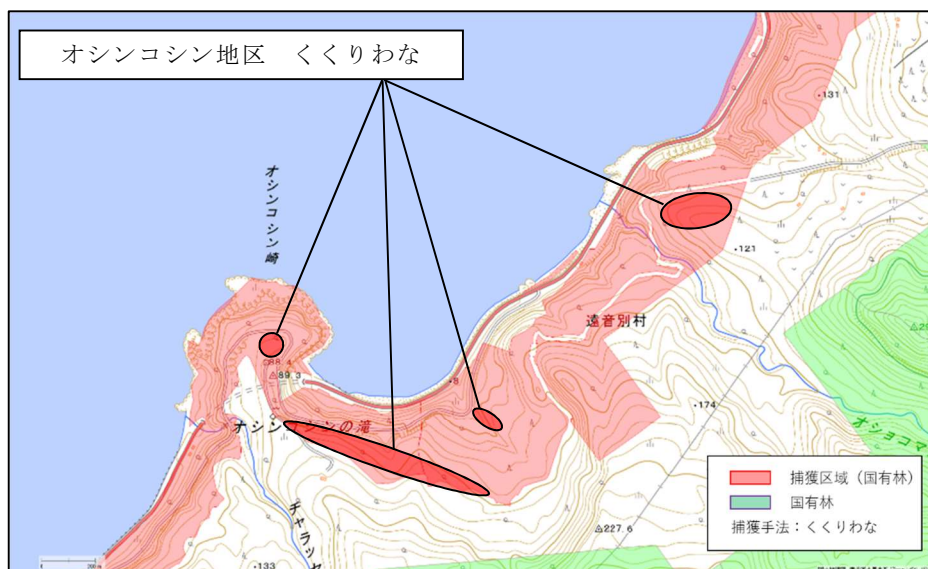


図 3 : 遺産隣接地域における令和 R4(2022)シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点の詳細 (オシンコシン地区)



図 4 : 遺産隣接地域における令和 4(2022)シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点 (羅臼地区)

3. 隣接地域（北海道・斜里町・羅臼町）

（1）銃による個体数調整

- ・斜里町では、令和4（2022）年6～9月にウトロ高原農地で9頭、半島基部農地で108頭捕獲しました。
- ・羅臼町では、町有林における巻き狩りと流し猟により、令和4年度（2022年度）9月～10月に37頭、2月～3月に28頭、計65頭を捕獲しました。（3月5日現在。継続中）

（2）銃器以外による個体数調整

- ・羅臼町では、令和4年（2022年）シカ年度に羅網及び交通事故で衰弱した4頭を電殺で殺処分しました。（3月5日現在）

（3）狩猟（北海道）（令和4年度（2022年度））

- ・道内のエゾシカ可猟期間は区域により異なり、オホーツク管内は10月22日から始まり、翌年2月28日までです（西興部村猟区を除く。）。
- ・斜里町の一部地域においては、捕獲効率の向上を目的として、可猟期間中に中断期間（翌年1月2日から1月13日まで、及び2月1日から2月10日まで）を設定しています。
- ・羅臼町（根室管内）の可猟期間は10月22日から始まり、翌年1月31日までです。
- ・個体数調整を図る上で重要なメスジカの捕獲を促すため、全道において、12月1日以降の銃猟によるオスジカの捕獲については、一人1日当たり1頭までとする捕獲数制限を設けています。